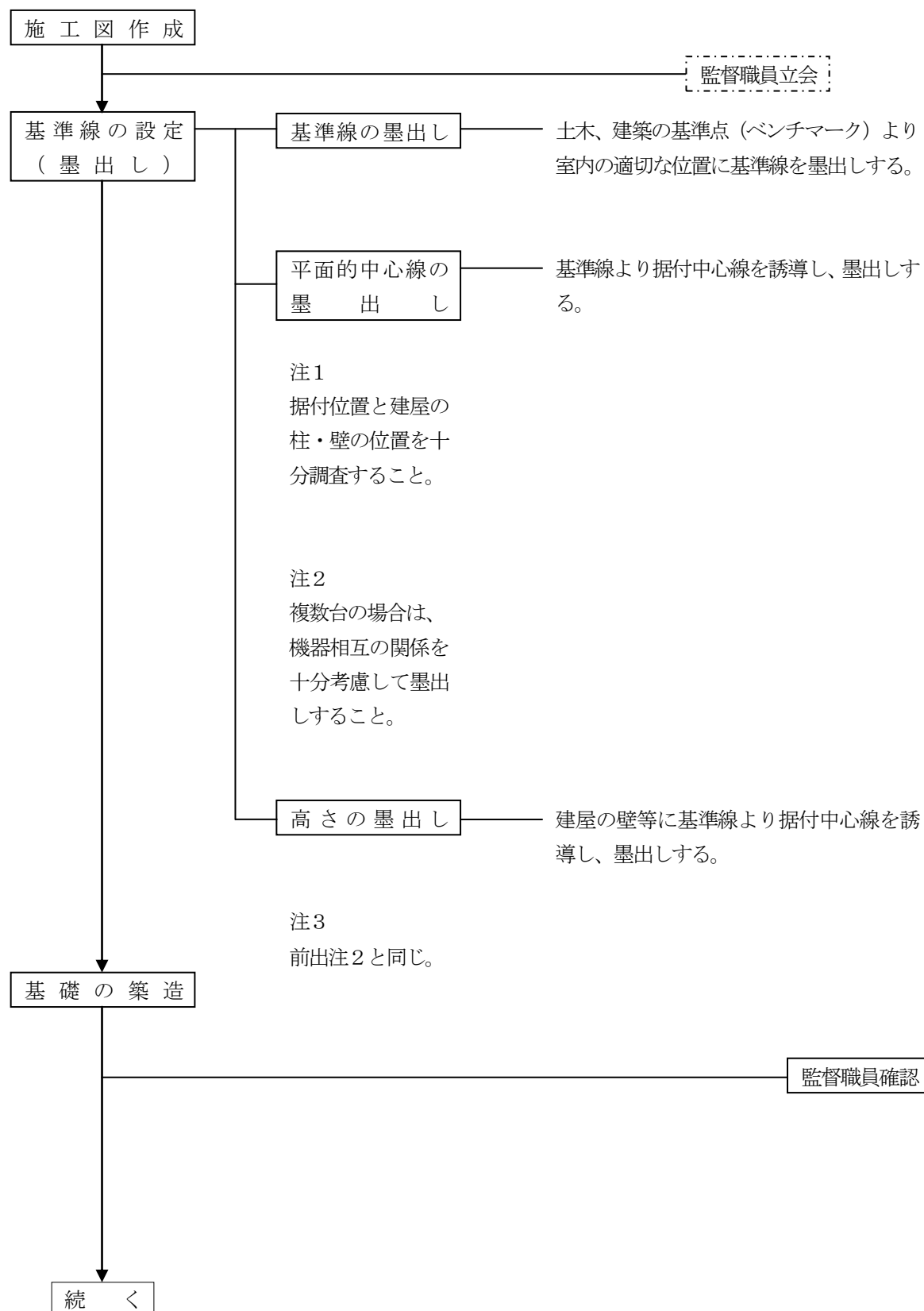


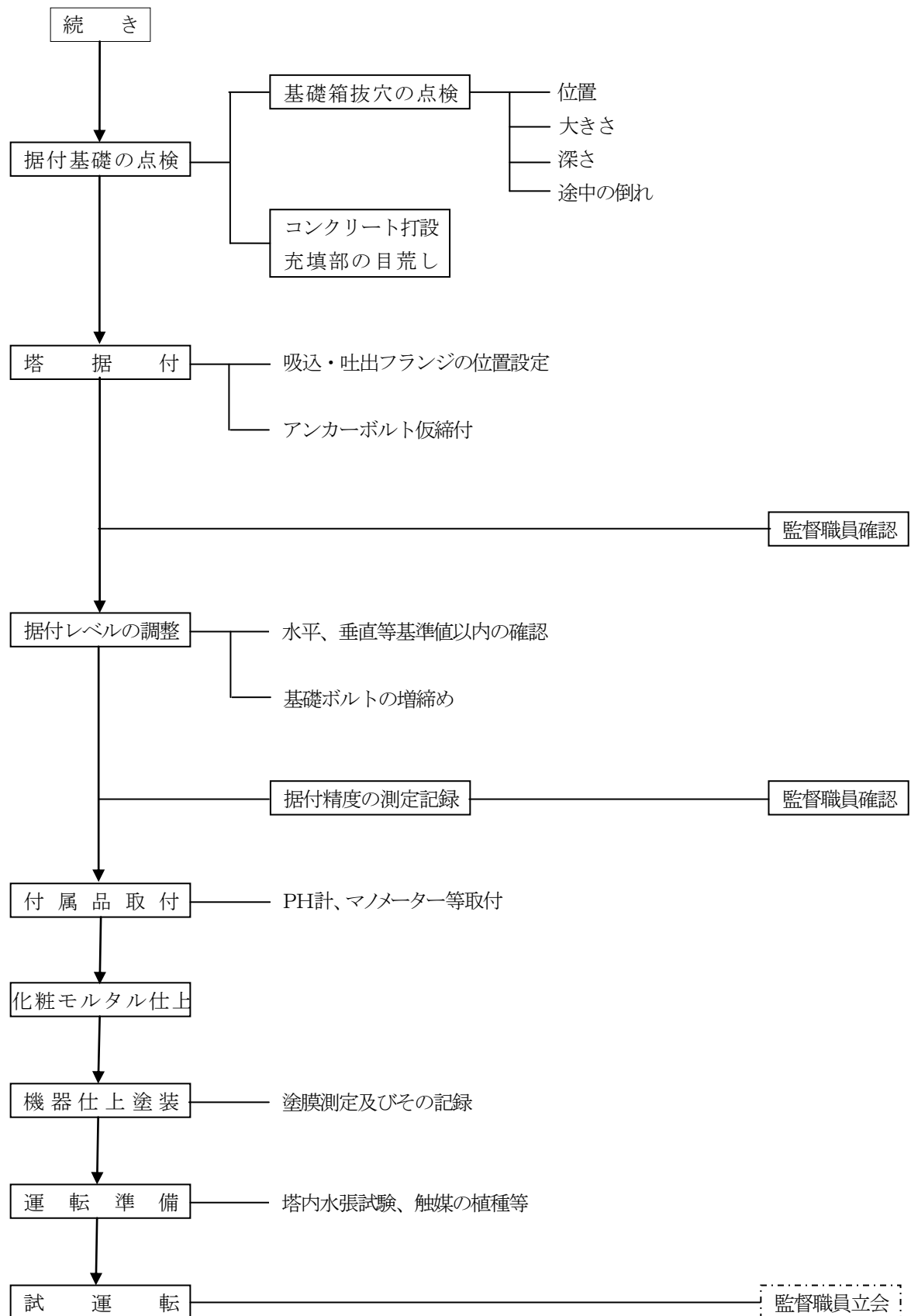
2. 1 5 脱臭設備

(1) 生物脱臭塔

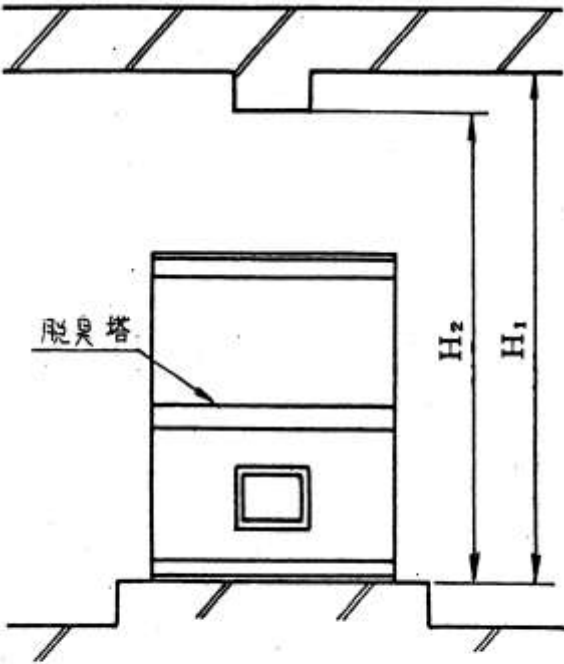
① 据付手順

(ア) 生物脱臭塔据付フローチャート



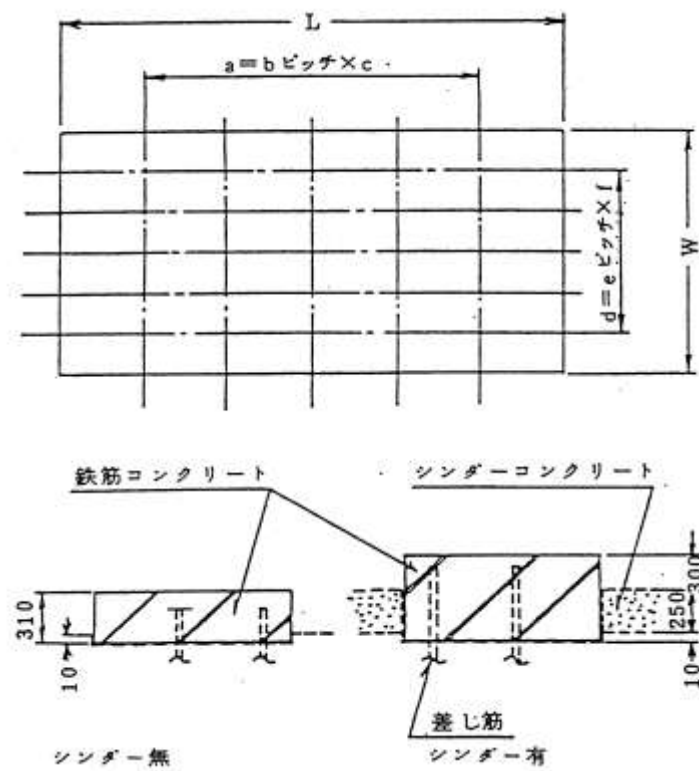


② 墨出し及び測定の要領

測 定 項 目	測 定 要 領	測 定 個 所 図
吸引ファン吸着塔デミスターの据付位置の確認	据付面の基準は、基準点（ベンチマーク）から図面寸法及び現地状況により機器の軸芯を通る中心線を決定し、基準面に墨出しをする。 この場合、建屋の柱及び壁など建屋内の配置をチェックする。	 脱臭塔 H₂ H₁ 注） 据付基礎が耐食塗装の施工仕様の場合は、 据付面に耐食塗装を施工のこと。
吸着塔設置場所の屋内寸法の確認	据付面より天井までの高さ(H1)又は梁(据付面上に梁がある場合)までの高さ(H2)を測定し、図面寸法との誤差を確認する。	
吸着塔の搬入口の大きさの確認	搬入口の巾、高さを測定し、塔の外形寸法より搬入口の可否を確認する。	
(注) (1) 複数台数ある場合には、相互の関連を充分考慮し、墨出しを行うこと。		

注) 据付基礎が耐食塗装の施工仕様の場合は、据付面に耐食塗装を施工のこと。

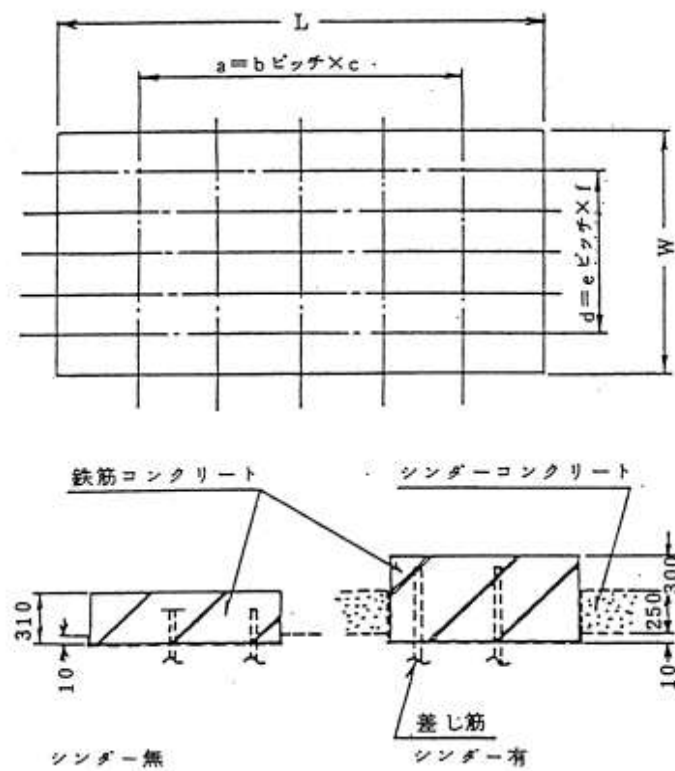
③据付標準基礎図



寸法(mm)	L	W	a	b	c	d	e	f
風量(m³/min)					(t°、f)			(t°、f)
50	2800	2300	2600	200	13	2000	200	10
100	4100	3000	3800	200	19	2800	200	14
200								
300	8400	4300	8200	200	41	4000	200	20
400								
500	11800	5100	11600	200	58	4800	200	24

設計条件・仕様	特記事項 1.鉄筋コンクリートは、 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ とする。 2.差筋の仕様は建設 躯体に合致すること。 3. 防水有の場合は、 建築と協議のこと。	施工注意事項 (注記) 屋外基礎は地耐力を十分に検 討し地耐力が不足する場合は 基礎杭等により措置すること	図面名称	生 物 脱 臭 塔 (1塔式) 据 付 標 準 基 礎 図
			図面番号	

③据付標準基礎図



寸法(mm) 風量(m³/min)	L	W	a	b	c (t°、f)	d	e	f (t°、f)
50	4000	1700	3800	200	19	1400	200	7
100	5600	1900	5400	200	27	1600	200	8
200								
300	12200	2200	12000	200	60	2000	200	10
400								
500	14700	2700	14400	200	72	2400	200	12

設計条件・仕様	特記事項 1.鉄筋コンクリートは、 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ とする。 2.差筋の仕様は建設 躯体に合致すること。 3. 防水有の場合は、 建築と協議のこと。	施工注意事項 (注記) 屋外基礎は地耐力を十分に検 討し地耐力が不足する場合は 基礎杭等により措置すること	図面名称	生 物 脱 臭 塔 (2塔式) 据 付 標 準 基 礎 図
			図面番号	

④ 試験・試運転

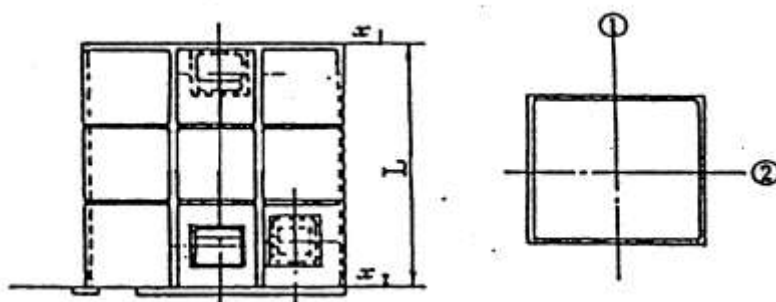
種別	試験内容		判定方法及び基準	記録事項	判定	摘要
	運 転 確 認	漏洩試験	ファン運転時において漏れがないこと。			
		風量測定	風量計にて確認する。			
		風圧測定	マノメーターにより測定する。			

⑤ 施工記録

施工管理記録

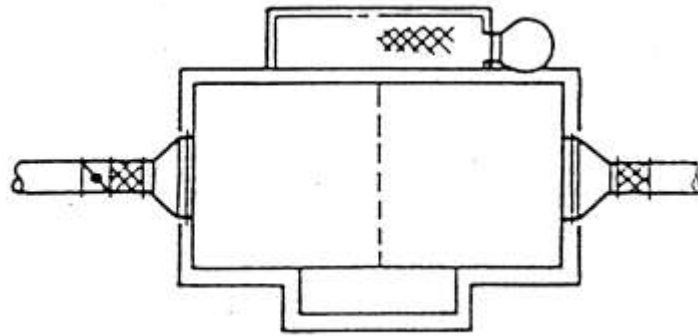
活性炭吸着塔垂直度測定表

工 事 名 称			
施 工 場 所		測 定 年 月 日	
機 器 名 称		測 定 者	
機番 (No)		立 会 者	

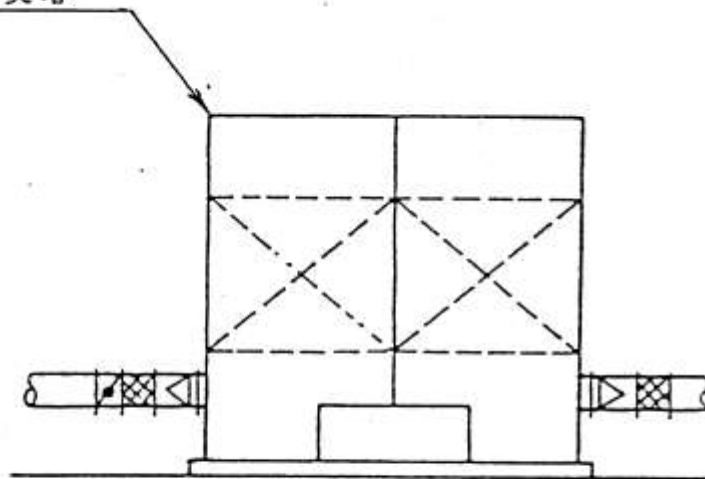


項 目	測定点	
	①	②
$X_1 - X_2$ (mm)		
L (mm)		
$\frac{ X_1 - X_2 }{L}$		

許容値 $\frac{|X_1 - X_2|}{L} \leq \quad \quad \quad / 100$



生物脱臭塔



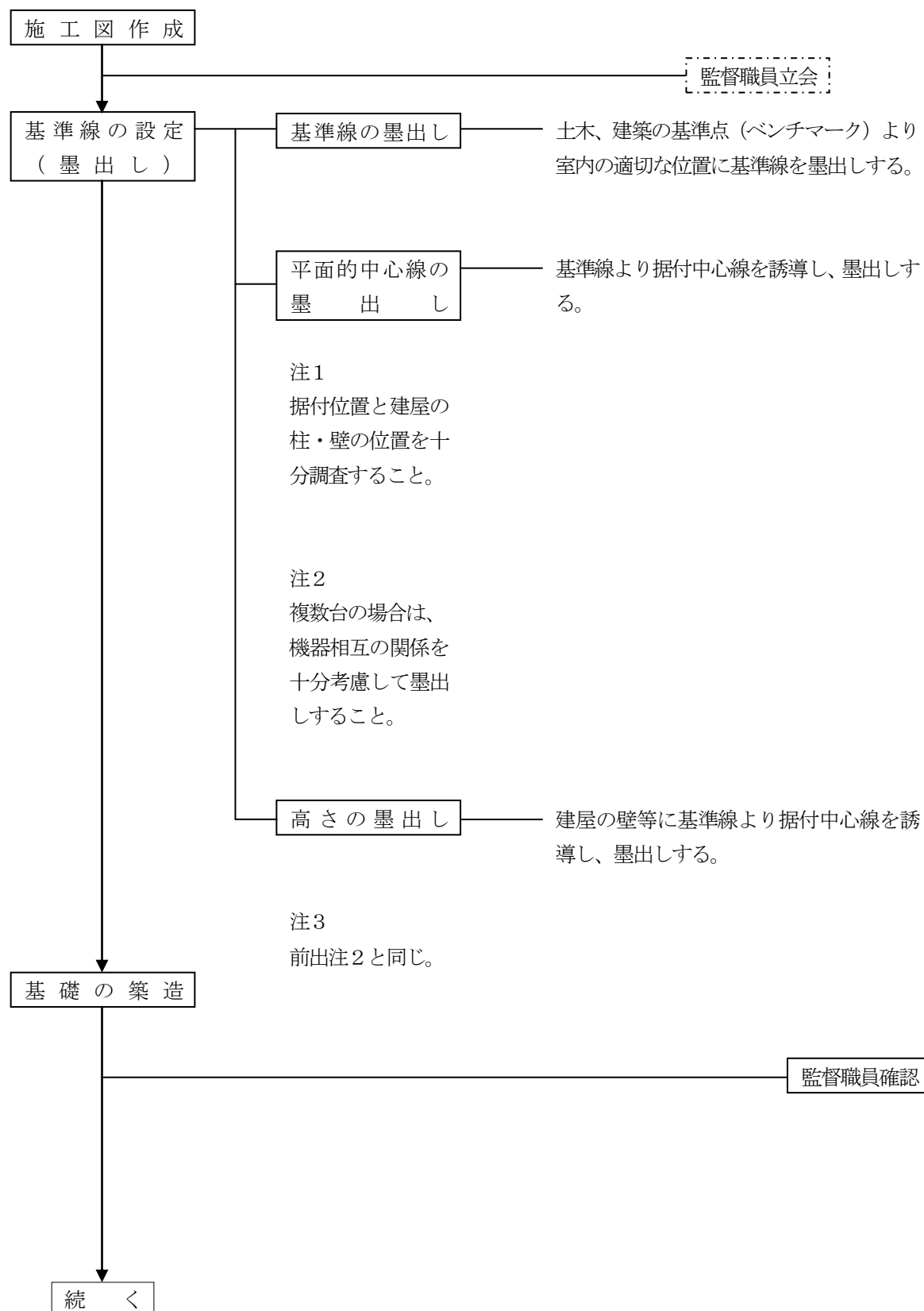
生物脱臭塔

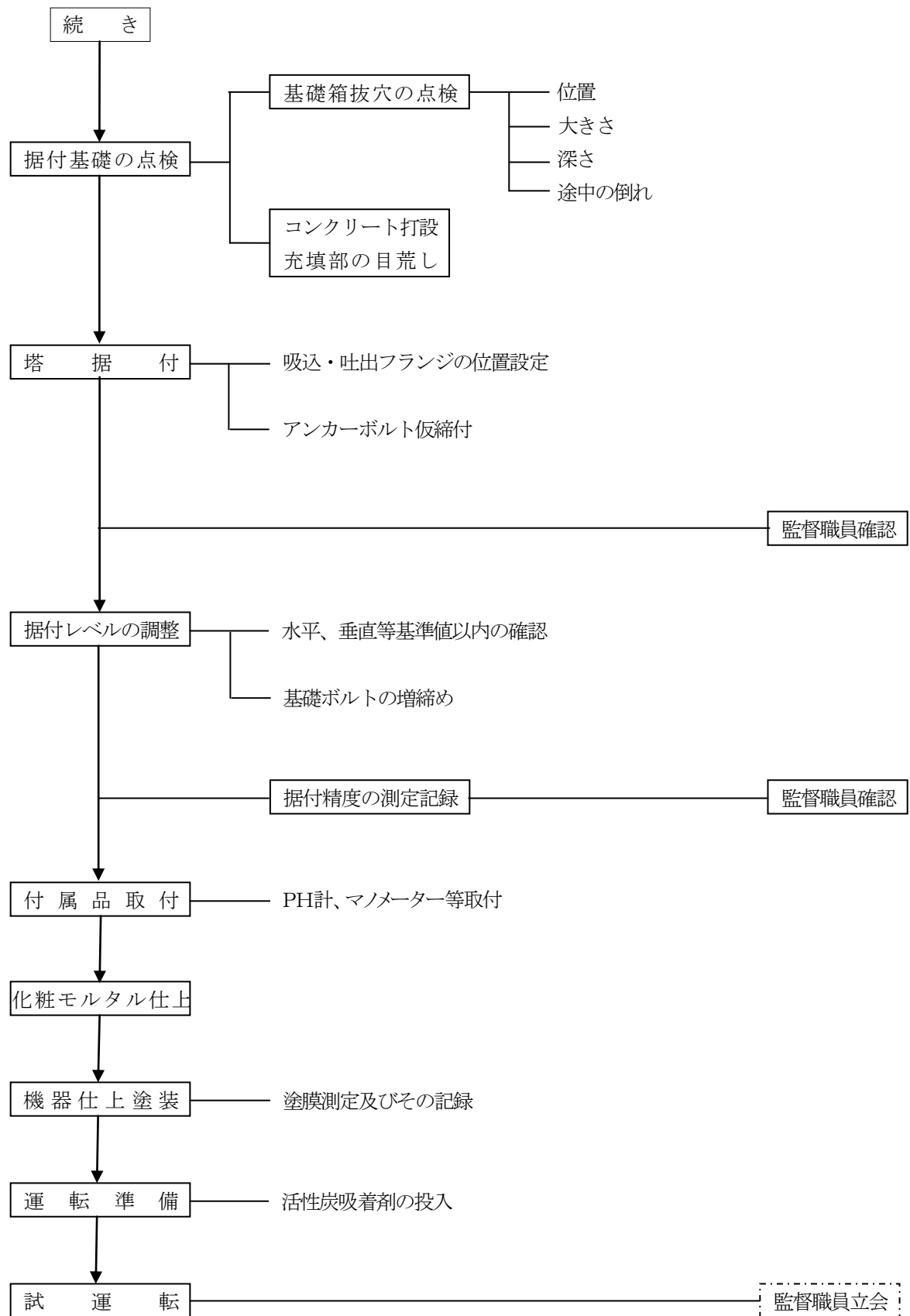
2. 15 脱臭設備

(2) 活性炭吸着塔

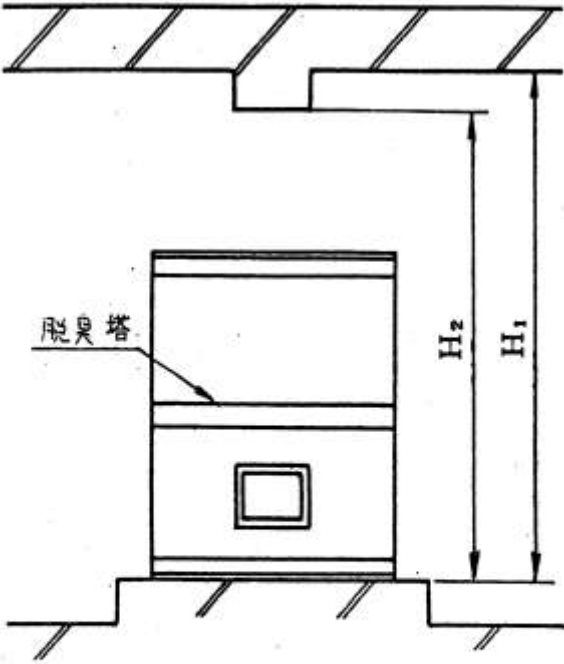
① 据付手順

(ア) 活性炭吸着塔据付フローチャート

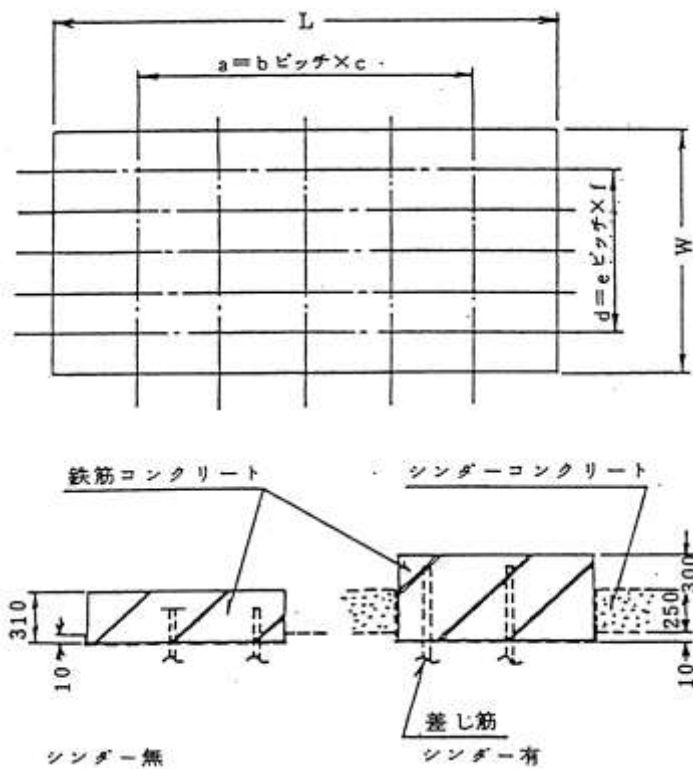




② 墨出し及び測定的要領

測 定 項 目	測 定 要 領	測 定 個 所 図
吸引ファン吸着塔デミスターの据付位置の確認	据付面の基準は、基準点（ベンチマーク）から図面寸法及び現地状況により機器の軸芯を通る中心線を決定し、基準面に墨出しをする。 この場合、建屋の柱及び壁など建屋内の配置をチェックする。	 注) 据付基礎が耐食塗装の施工仕様の場合は、据付面に耐食塗装を施工のこと。
吸着塔設置場所の屋内寸法の確認	据付面より天井までの高さ(H1)又は梁(据付面上に梁がある場合)までの高さ(H2)を測定し、図面寸法との誤差を確認する。	
吸着塔の搬入口の大きさの確認	搬入口の中、高さを測定し、塔の外形寸法より搬入口の可否を確認する。	
(注) (1) 複数台数ある場合には、相互の関連を充分考慮し、墨出しを行うこと。		

③据付標準基礎図



寸法(mm) 風量(m³/min)	L	W	a	b	c (t°ff)	d	e	f (t°ff)
50	2300	2000	2100	300	10	1800	300	8
100	2800	2600	2600	300	12	2400	300	10
200								
300	4200	4700	4000	300	18	4500	300	20
400								
500	6700	5400	6500	300	29	5300	300	24

設計条件・仕様	特記事項 1.鉄筋コンクリートは、 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ とする。 2.差筋の仕様は建設 躯体に合致すること。 3. 防水有の場合は、 建築と協議のこと。	施工注意事項 (注記) 屋外基礎は地耐力を十分に検 討し地耐力が不足する場合は 基礎杭等により措置すること	図面名称	活性炭吸着塔 据付標準基礎図
			図面番号	

④ 試験・試運転

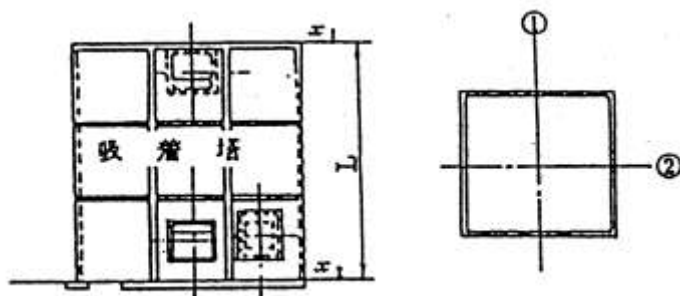
種別	試験内容		判定方法及び基準	記録事項	判定	摘要
	運 転 確 認	漏洩試験	ファン運転時において漏れがないこと。			
		風量測定	風量計にて確認する。			
		風圧測定	マノメーターにより測定する。			

⑤ 施工記録

施工管理記録

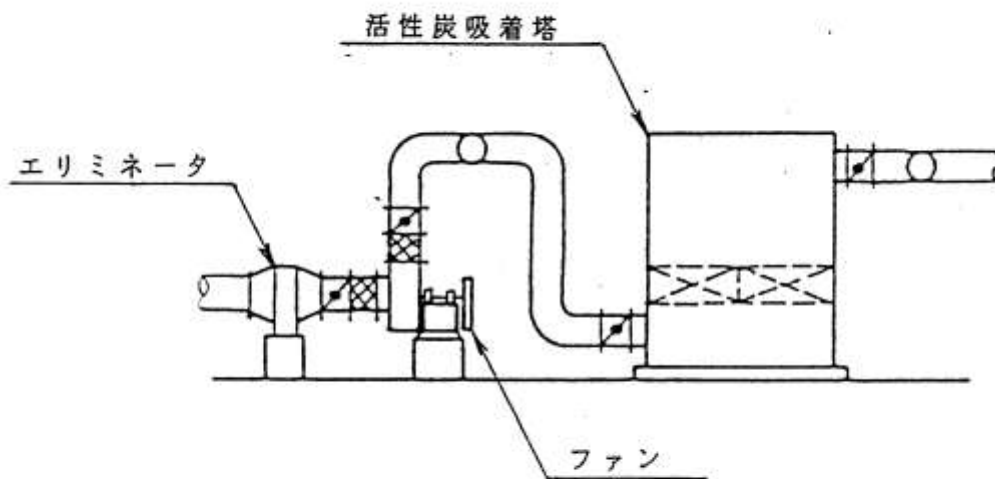
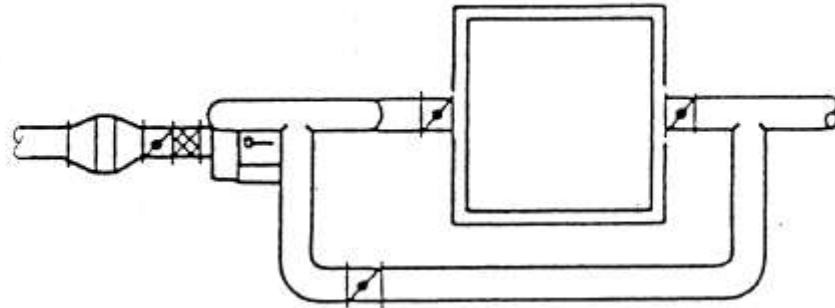
活性炭吸着塔垂直度測定表

工 事 名 称			
施 工 場 所		測 定 年 月 日	
機 器 名 称		測 定 者	
機番 (No)		立 会 者	



項 目	測定点	
	①	②
$X_1 - X_2$ (mm)		
L (mm)		
$\frac{ X_1 - X_2 }{L}$		

許容値 $\frac{|X_1 - X_2|}{L} \leq \quad / 100$



活性炭吸着塔